

イランの報復攻撃、テルアビブ中心部を標的に負傷者続出

アルマヤディーン

6月17日

<https://english.almayadeen.net/news/politics/iran-retaliatory-strikes-target-greater-tel-aviv-as-injuries>

イランがテルアビブのイスラエル軍情報機関とモサドの拠点を攻撃、パレスチナ占領地ではサイレンが鳴り響く

イスラエルのメディアによると、イランのミサイルが6月17日午後のパレスチナ占領地に向けて発射された；

チャンネル14によると、イラン領内から占領地のさまざまな場所に向けて大量のロケット弾が発射された。[空襲のサイレン](#)がテルアビブ全域と占領地アルクッズを含む複数の地域で鳴り響き、入植者たちは身を隠すために奔走した。

イスラエルの救急隊は、弾幕の中、保護されたシェルターに駆け込んだ4人が負傷したと発表した。

注目すべき展開として、イスラエルのメディアは、米国が供給するTHAADミサイル防衛システムが[イランのミサイルを迎撃するために作動したことを確認した。](#)

イランがイスラエルの情報センターを爆撃

同時に、イスラム革命防衛隊(IRGC)は、「真の約束」作戦3に関する8回目の公式声明を発表した。声明の中でIRGCは、その航空宇宙部隊が2つの主要な情報センター(イスラエル占領軍の[アマン軍事情報本部](#)と、暗殺

計画と秘密工作を専門とするモサドの施設)を標的とすることに成功したと発表した。

高度な防空システムが配備されているにもかかわらず、IRGC は、その航空宇宙軍が要塞化された空域に侵入することに成功したため、攻撃は正確に実行されたと強調した。

IRGC、精密攻撃の継続を誓う

これに先立ち、IRGC は 6 回目の公式コミュニケで、今日の作戦で展開された高度な技術と能力によって、イスラエルの奥深くを正確に攻撃し、成功させることができたと断言した。

声明は、IRGC の航空宇宙部隊が意図した目標を正確に攻撃したことを強調し、この攻撃はイスラエル占領の重要なインフラを劣化させる広範なキャンペーンの一環であると述べた。

IRGC は、軍事的圧力を維持する意図を再確認し、「インパクトのある、効果的で破壊的な作戦」を継続すると宣言し、具体的にはイスラエルの軍事・諜報組織内の重要なノードを標的とすると説明した。

このエスカレートするキャンペーンは、[真の約束 3](#) の一環であり、IRGC によれば、進行中の軍事作戦は、高度なミサイル技術と精密打撃能力によって強化された殺傷能力によって、占領地への深い侵入を可能にしている。

IRGC 顧問 イランは長期戦に備える

イスラム革命防衛隊 (IRGC) 司令官上級顧問のアフマド・ヴァヒディ准将は 24 日、最近の作戦で使用された新世代のミサイルは、イランの広範な最新軍事能力のほんの一部に過ぎないと述べた。

イランのメディアに対し、バヒディ將軍は、イランのミサイル備蓄が枯渇しているとの報道を否定した。「[われわれはミサイル能力を戦略的に使い始めてもいない](#)」。

バヒディ氏は、イランは幅広い種類の最新兵器を保有しており、「適切と判断すればいつでも」それを配備すると強調し、必要であればエスカレートさせる用意があることを再確認した。

また、戦争が長期化することをテヘランは懸念していないと強調し、イスラエル占領との対立が激化するなか、イランの戦略的深みと軍事的備えに対する自信が高まっていることを示した。

占領下パレスチナのイスラエル施設を攻撃

イランの武装勢力は、ムササビ少将の厳しい警告を受け、占領下のパレスチナにあるイスラエルの施設を標的に、複数の大規模な砲撃を開始した。

<https://english.almayadeen.net/news/politics/iran-s-heavy-barrages-impact-multiple-israeli-targets-overni>

アルマヤディーン

2025 年 6 月 18 日

イランは、[継続するイスラエルによるパレスチナへの侵略への報復として](#)、一晩中、占領下のパレスチナのイスラエルの標的に向けて弾道ミサイルを複数発射した；

この攻撃に先立ち、イランの[指導者サイード・アリ・カメネイ](#)が X に投稿し、「テロリストであるシオニストに対し、我々は力強く対応しなければならない...シオニストとは決して妥協しない」と宣言し、イランの対決姿勢と米国の脅しに屈しない姿勢を再確認した。

イスラエル軍情報局への攻撃

午前 12 時 40 分(現地時間)頃、イスラエル占領下の都市と入植地全域でサイレンが鳴り響き、イランの弾道ミサイルの第一波の到着を知らせ、警戒システムの誤作動が報告される中、避難所に駆け込んだ入植者たちの間に広範なパニックを引き起こした。 事前の警告なしにロケット弾が着弾したと主張する者さえいた。

イスラエルのメディアは、第一弾には 20 から 30 発の弾道ミサイルが含まれていたと推定している。この大規模な弾幕は、火曜日を通して行われた複数の小規模な攻撃に続いて行われた

これらの攻撃は、それぞれの波で少量のミサイルで構成されていたが、イスラエル軍事情報総局(アマン)へのヒットを含む複数の衝撃が記録された。テルアビブにあるそのメンバーを収容する基地の大型倉庫は、火曜日の朝に直撃され、致命的な打撃を受けた。

イスラエルのメディアは、今回の一連の攻撃で、南部のアシュドッド、アルクッツ、中央部のシャロンとサマリアの入植地で衝撃が記録されたと報じた。イランのファルス通信はまた、イラン軍がこの攻撃で占領地パレスチナ北部のメロン航空管制基地を攻撃したことを明らかにした。

メロン基地について

メロン基地は、占領下のパレスチナ北部にあるメロン山の頂上に位置するイスラエル軍の戦略基地である。

北方戦線に沿った電子監視と空中監視のための占領軍の重要拠点のひとつと考えられている。

この基地は、レバノンとシリアの活動を追跡する上で重要な役割を果たしており、レーダー、妨害システム、機密軍事通信を収容している。

北の標的に対する作戦を調整するために使用されるイスラエルの C4I(コマンド、コントロール、コミュニケーション、コンピューター、インテリジェンス)ネットワークの不可欠な部分である。

イランの報道機関は、この攻撃には弾道ミサイル Kheibar Shekan が使われ、イスラエルの敏感な場所を攻撃したことを確認した。

インターセプターの欠陥

さらに、欠陥のある迎撃ミサイルが、正体不明の物体に衝突する前に地上に向かって操舵しているのが目撃され、テルアビブで大火災を引き起こした。これは、イランの発射物を迎撃するために発射されたイスラエルのミサイルが失敗し、地上の物体に命中したことを示す 3 つ目の文書である。

第二次攻撃はまもなく続く

テルアビブ、ネターニャ、ヨルダン川西岸地区を含む入植地一帯でサイレンが鳴り響いた。イスラエルのメディアは、2発のイラン製ミサイルがテルアビブと北部の標的に命中したと報じた。

また、迎撃ミサイルの破片により、パレスチナ占領下の複数の地域で火災が発生し、ブネイブラクでは約 20 台の車が炎上した。

IRGC、イスラエルの防空システムは崩壊していると発表

その直後、イランのイスラム革命防衛隊(IRGC)は、「われわれはシオニスト軍の防空システムの終わりの始まりを目撃している」と宣言した。

イスラエルによるイランへの攻撃とそれに続くイランの報復攻撃の開始以来 10 回目となる声明で、IRGC は、最新の攻撃の波には、「イスラエル」のミサイル防衛シールドを首尾よく貫通し、イスラエル軍の陣地を繰り返し攻撃した、機動性が高く強力な兵器である第一世代のファタハ・ミサイルが関与していることを明らかにした。

ファタハ・ミサイルの配備は、「テルアビブの妄信的な同盟国であり、戦争の扇動者である」イランの強さを示す明確なメッセージである、と IRGC は指摘した。

声明は、今回のミサイル攻撃は「占領地上空が今や完全にわれわれの支配下にあることを疑う余地なく証明した」と強調した。

IRGC は最後に、テルアビブの住民は "イランのミサイル能力の前に無防備になった "と強調した。

イラン軍、イスラエル人入植者に避難命令

これに先立ち、イラン武装勢力は、テルアビブのネヴェ・ツェデク地区に住むイスラエル人入植者に対し、テヘラン第 18 地区へのイスラエルの脅迫を受けたとして避難命令を出した。

なぜネヴェ・ツェデクなのか？

ネヴェ・ツェデクはテルアビブで最も古く、象徴的に重要な地区のひとつである。シオニストの物語の中で、文化的、歴史的、イデオロギー的に深い価値を持ち、イスラエルの言説ではしばしば「最初のシオニストの夢」と表現される。

後にテルアビブを拡大する核となったネヴェ・ツェデクは、パレスチナ沿岸部におけるシオニスト・プロジェクトの初期の願望を体現するようになった。

この地域はまた、主要な文化・観光地でもあり、毎年何千人もの観光客が訪れる。

イスラエルの攻撃を受けるテヘラン

一方、アル・マヤディーン特派員によると、テヘランは「イスラエル」の脅迫を受けて攻撃を受けており、ピロオジ、サバラン、サイヤド地区で爆発音が聞こえたという。

アル・マヤディーンの特派員によると、火曜日の朝、イスラエルの空爆は、テヘランとイランの首都の西郊外を結ぶ道路を標的とした。

イラン防空隊、イスラエルの無人機 22 機を破壊、撃墜

イラン防空軍はまた、マシュハド上空でイスラエルの複数の標的と交戦中であることも報告された。

アル・マヤディーン特派員は、情報筋の話として、イランの防空システムは過去 24 時間で、22 機のイスラエル軍無人機の破壊と撃墜に成功し、数十発の弾丸を迎撃したと報じた。

情報筋によると、イスラエルによるイラン侵攻が始まって以来、270 人以上が殉教したという。